



バスコでは天候の回復を待って、
7月15日に航空機による斜め撮影を
実施し、併せて、翌16日の午前に高分解
能光学衛星「pleiades」による撮影を実
施しました。
この図の背景には、被災前に撮影した人
工衛星データ PASCO Satellite Ortho
(PSO)を使用しています。
判読した範囲は図中のコントラストが高
い範囲で、黄色で囲われている部分が今
回の豪雨で新たに土砂移動が発生したと
思われる範囲です。

判読に使用した資料

15日撮影 航空写真

16日撮影 光学人工衛星

凡例



主な判読範囲



土砂移動痕跡

※ 撮影時点の情報に基づき、判読をしています。

※ 被災した全範囲を抽出した物ではありません。